

地域医療支援病院業務報告書

令和5年 10月 5日

群馬県知事 山本 一太 殿

開設者

住 所 群馬県高崎市中尾町 886
氏 名 安藤 哲郎
電話番号 027-362-6201

医療法第12条の2の規定により、令和3年度の業務に関して下記のとおり報告します。

記

1 病院の開設者の住所及び氏名

住所	〒370-0001 群馬県高崎市中尾町 886 番地
氏名	医療法人社団日高会 理事長 安藤 哲郎

注 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記載すること。

2 病院の名称

医療法人社団日高会日高病院

3 病院の所在地

〒〒370-0001 群馬県高崎市中尾町 886 番地 電話 (027) 362-6201
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合 計
床	床	床	床	287 床	287 床

5 病院の施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) レスピレーター・救急カート・心電図モニター・除細動器 ・十二誘導心電図・輸液ポンプ・超音波診断装置 病床数 4 床
化学検査室	(主な設備) 生化学・免疫自動分析装置：C8000i2000SR
細菌検査室	(主な設備) 安全キャビネット (CLASS II A) 遺伝子検査機器：IDNow、GENECUBE
病理検査室	(主な設備) HE 染色全自動システム：HE600 免疫染色全自動システム：Bench Mark ULTRA 細胞診標本作成全自動システム：ThinPrep5000
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、メス、カメラ
研 究 室	(主な設備) 机、パソコン、顕微鏡
講 義 室	室数 4 室 収容定員 300 人 (4 室合計)
図 書 室	室数 1 室 蔵書数 3,500 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 9 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 60.0 m ² [共用室の場合]

注 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記載すること。

(その2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		57.7%	算定 期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率		79.3%		
算出 根拠	A：紹介患者の数（開設者とは直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された数。初診の患者に限る。）			3, 7 4 1 人
	B：初診患者の数			6, 4 7 8 人
	C：逆紹介患者の数（開設者と直接関係のある他の病院又は診療所に紹介した患者を除く。）			5, 1 3 7 人

- 注 1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 2) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 3) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。

(その3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 (別紙1 参照)

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	4 床
専 用 病 床	4 床

注 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査及び治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急室	155.1 m ²	自動血圧計・心電図モニター・救急カート・レスピレーター	可
HCU (ハイケアユニット)	91.8 m ²	心電図モニター・レスピレーター・輸液ポンプ・救急カート・除細動器・十二誘導心電図・超音波診断装置	可
CT室	26.4 m ²	CT-Aquilion One TSX-305A/2A	可
MRI室	57.0 m ²	MRT-2004/N4 Vantage Taitan1.5T	可
血管造影室	65.5 m ²	血管撮影装置 INFX-8000V/JF	可

4 備考

--

注 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき群馬県知事の救急病院の認定を受けている病院又は救急医療対策の整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,672人 (1,072人)
上記以外の救急患者の数	4,396人 (913人)
合 計	7,068人 (1,985人)

注 1) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。
2) 括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	9台
---------------	----

(その4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 前年度の共同利用の実績

①	前年度において共同利用を行つた医療機関の延べ数：	7, 193 件
②	①のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数：	1, 637 件
③	共同利用に係る病床の病床利用率：	100%

注 前年度において共同利用を行つた実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行つた医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲等

①	共同利用を行つた建物、設備、器械又は器具の名称： 講義室・診療録情報管理センター・診察室・病室・CT・MRI・PET/CT
②	開放病床：5床

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有・☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：佐藤 貴之

職 種：病診連携室連携推進室長

注 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿（別紙2参照）

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との 経営上の関係

注 当該病院と同一の二次医療圏に所在する医療機関のみ記載すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(その5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

① 医学又は医療に関する講演会（学術講演会）：	25回
② 地域の医師等を含めた症例検討会：	7回
③ その他の研修会：	1回

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	17回
(2) (1) の合計研修者数	610人

注 1) 研修は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものであること。
2) (2) には、前年度の研修者の実数を記載すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無
 イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無
 ウ 研修指導者 安藤哲郎

(別紙3参照)

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験年数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	

注 研修指導者のうち、教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
研究室（検査室内）	145.5 m ²	机・顕微鏡・分光時計
講義室（会議室）	416.8 m ²	音響設備、プロジェクター、スクリーン、ビデオ、机、椅子
図書室	82.2 m ²	書籍、パソコン、複写機、机、椅子
	m ²	(主な設備)

(その6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	宮前 重利
管理担当者氏名	宮前 重利

記録の種類		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状及び退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約			1 患者 1 ID にて分類・保管
病院の 管理及び 運営に 関する 諸記録	共同利用の実績	連携室	
	救急医療の提供の実績	連携室	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	連携室	
	閲覧実績	情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	連携室	

注1) 「保管場所」欄には、当該記録を保管する部署名を記載すること。

2) 「診療に関する諸記録」については、個々の記録について記載する必要はなく、諸記録の分類方法及び全体としての管理方法の概略を記載すること。

(その 7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	宮前 重利
閲覧担当者氏名	宮前 重利
閲覧の求めに応じる場所	診療録・情報管理室
閲覧の手続の概要 ① 登録医を含む地域医療機関の医師から連携室に申請 ② 診療録情報管理室にご案内 ③ 閲覧患者が当該医師からの紹介患者であるか確認 ④ 診療録情報管理室の閲覧担当者が立ち会いのもと、登録医 ID およびパスワードで電子カルテにログイン ⑤ 閲覧担当者が立ち会い閲覧頂く	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

注 閲覧件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

(その8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
委員会における議論の概要		
第 2 3 回 地域医療支援病院運営委員会 日 時 : 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催としました。		

注 委員会の開催回数及び委員会における議論の概要（開催日、開催場所、協議事項、報告事項等）については、前年度のものを記載すること。

(その9) 患者相談の実績

患 者 相 談 を 行 う 場 所	相談窓口・相談室・その他（病棟相談室） 上記全ての場所を実施
主として患者相談を行つた者 (複数回答可)	社会福祉士、看護師、社会福祉主事
患 者 相 談 件 数	12,558 件
患者相談の概要	
① 相談の類型・転院相談 ・入院相談（一般病棟・回復期リハビリ病棟） ・施設入所相談 ・在宅ケア相談 ・介護保険など諸制度手続き相談 ・医療費・生活費相談 ・生活保護相談 ・障害者自立支援法制度相談 ・がん相談（セカンドオピニオン、往診医紹介、治療方法など） ・往診医相談など ② 相談に基づき講じた対策等 ・入院前支援として各制度説明や退院困難要因などを聴取している。 ・入院期間が短いため、入院時にインテーク面接を実施している。 ・入院後、7日以内に退院支援カンファレンスを実施している。 ・全病棟のカンファレンスに退院調整看護師、社会福祉士が出席している。 ・退院支援加算1を算定し、医師・看護師とともに退院支援計画を立てている。 ・主な病院（転院先）や施設の空床状況を把握している。	

注 1) 患者相談件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

2) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

(その10) その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有 ☐ 無
評価を行った機関名、評価を受けた時期 財団法人日本医療機能評価機構受審 令和3年6月17日、病院機能評価・一般病院2の部でバージョン1.1認定	

注 病院の機能に関する第三者による評価は、公益財団法人日本医療機能評価機構等によるものであること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有 ☐ 無
情報発信の方法、内容等の概要 ① ホームページおよびFace Book ② 連携通信(医療機関用)および地域機関紙(地域住民用)	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	☒ 有 ☐ 無
退院調整部門の概要 社会福祉士10名・看護師10名・社会福祉主事1名	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	☒ 有 ☐ 無
① がん関連(5大癌+前立腺癌)の連携パス運用 ② 脳卒中・大腿骨頸部骨折連携パスの運用	